

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年2月13日
【四半期会計期間】	第46期第3四半期（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）
【会社名】	フジフーズ株式会社
【英訳名】	FUJI FOODS,INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大村 近三郎
【本店の所在の場所】	千葉県船橋市高瀬町24番3
【電話番号】	047-434-5085（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 北條 和彦
【最寄りの連絡場所】	千葉県船橋市高瀬町24番3
【電話番号】	047-434-5085（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 北條 和彦
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 （東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第3四半期連結 累計期間	第46期 第3四半期連結 会計期間	第45期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(千円)	46,564,317	15,788,662	60,248,861
経常利益(千円)	1,209,001	297,052	1,714,019
四半期(当期)純利益(千円)	484,929	69,437	627,460
純資産額(千円)	-	17,204,764	16,824,514
総資産額(千円)	-	31,143,935	31,086,264
1株当たり純資産額(円)	-	1,086.84	1,062.70
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	30.63	4.39	39.63
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	55.2	54.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,300,209	-	1,791,961
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,359,638	-	1,185,910
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,169,253	-	2,094,093
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	1,700,096	1,948,346
従業員数(人)	-	829	809

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式がないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	829 (3,230)
---------	-------------

（注）従業員数は就業人員であり、時給制従業員（パートタイマー）数は（ ）内に当第3四半期連結会計期間の平均人員（1日8時間換算）を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	541 (3,040)
---------	-------------

（注）従業員数は就業人員であり、時給制従業員（パートタイマー）数は（ ）内に当第3四半期会計期間の平均人員（1日8時間換算）を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。
 飲食店事業、運送事業の生産実績については、把握が困難なため、記載を省略しております。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
食品事業(千円)	15,322,601
合計(千円)	15,322,601

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第3四半期連結会計期間の商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。
 運送事業の商品仕入実績については、把握が困難なため、記載を省略しております。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
食品事業(千円)	301,831
飲食店事業(千円)	167,550
合計(千円)	469,382

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 飲食店事業には、食材の仕入を含めて記載しております。

(3) 受注状況

当第3四半期連結会計期間における受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。
 飲食店事業、運送事業の受注状況については、把握が困難なため、記載を省略しております。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	受注残高(千円)
食品事業	170,914	60,669
合計	170,914	60,669

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 上記金額は連結子会社、FUJI FOODS U.S.,INCの受注高及び受注残高であり、当社及び連結子会社(株)フジフードサービス)は、受注生産を行っておりますが、受注当日ないし、翌日に製造・出荷しておりますので、受注高並びに受注残高についての記載を省略しております。また、連結子会社(台湾英滋食品股?有限公司)は見込み生産を行っております。

(4) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
食品事業(千円)	14,916,079
飲食店事業(千円)	569,618
運送事業(千円)	302,964
合計(千円)	15,788,662

(注) 1. 当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次の通りです。

相手先	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)
(株)セブン・イレブン・ ジャパン	13,930,233	88.2

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国の金融危機に端を発した世界経済の減速や急激な円高により企業業績が一段と悪化する等、景気の先行きは極めて厳しい状況となりました。当食品業界におきましては、中食業界、外食業界の競争がなお一層激化する一方、原材料価格の高止まりの影響を受け、経営環境は極めて厳しいものとなりました。さらに国内外で食に関する問題が続発し、食品の「安全・安心」に対する取り組みが強く求められました。当社グループは、このような経営環境の中で経営基盤の強化ならびに連結子会社の収益改善に努めてまいりました。この結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は15,788百万円となりましたが、原材料価格の高止まり等により、経常利益は297百万円、四半期純利益は69百万円となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

当社グループの基幹事業である食品事業におきましては、食品の「安全・安心」を徹底するため、品質管理力を一層強化するとともに、原材料価格の高止まりへの対応、省力化等による生産性の向上ならびにエネルギー使用量削減等の環境問題への対応に努めてまいりました。商品開発におきましては、商品開発技術のノウハウを活用し顧客ニーズに対応した商品開発、ならびに革新的な生産機器類の開発に取り組んでまいりました。また、平成20年12月より秋田工場において冷凍食品の製造を開始いたしました。

連結子会社におきましては、事業の再構築等を図り、当社グループの経営改善に努めてまいりました。この結果、食品事業の売上高は14,916百万円となりましたが、原材料価格の高止まり等により、営業利益は394百万円となりました。

飲食店事業におきましては、外食産業における競争が激化する中、新規メニューの開発や九州地区への出店を図り、業容の拡大に努めてまいりました。この結果、飲食店事業の売上高は569百万円となりましたが、営業利益は7百万円となりました。

運送事業におきましては、新規顧客開拓による業容の拡大ならびにコース再編等による運営力の強化に取り組んでまいりました。この結果、運送事業の売上高は302百万円、営業利益は70百万円となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は1,700百万円となりました。当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間における税金等調整前四半期純利益は250百万円となり、減価償却費が414百万円となったこと等から、営業活動によるキャッシュ・フローは643百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間においては、有形固定資産の取得による支出が623百万円となったこと等から、投資活動によるキャッシュ・フローは620百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間においては、短期借入れによる収入が600百万円、長短借入金の返済による支出が596百万円となったこと等から、財務活動によるキャッシュ・フローは0百万円の支出となりました。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第3四半期連結会計期間における食品事業の研究開発活動の金額は、151百万円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、食品事業の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,000,000
計	34,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	15,875,000	15,875,000	ジャスダック証券取引所	単元株式数 1,000株
計	15,875,000	15,875,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年10月1日～ 平成20年12月31日	-	15,875,000	-	6,541,250	-	7,014,370

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりませ
 ん。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成20年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 44,000	-	単元株式数1,000株
完全議決権株式（その他）	普通株式 15,749,000	15,748	同上
単元未満株式	普通株式 82,000	-	1単元（1,000株）未満の株式
発行済株式総数	15,875,000	-	-
総株主の議決権	-	15,748	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の「株式数」欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。なお、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個を含めておりません。

【自己株式等】

平成20年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
フジフーズ株式会社	千葉県船橋市高瀬町24番3	44,000	-	44,000	0.27
計	-	44,000	-	44,000	0.27

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高（円）	328	345	313	325	320	316	302	288	329
最低（円）	300	294	301	296	309	300	199	250	251

（注）最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,846,896	2,094,646
受取手形及び売掛金	5,793,561	5,515,303
有価証券	485	2,408
商品	20,401	44,449
製品	160,233	157,613
原材料	496,373	480,713
仕掛品	22,163	17,963
繰延税金資産	242,653	239,491
その他	379,689	367,568
貸倒引当金	1,925	6,595
流動資産合計	8,960,533	8,913,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,740,785	22,565,071
減価償却累計額	13,862,331	13,267,920
建物及び構築物(純額)	8,878,453	9,297,151
機械装置及び運搬具	8,489,227	7,875,726
減価償却累計額	6,198,437	5,942,755
機械装置及び運搬具(純額)	2,290,790	1,932,970
土地	7,376,008	7,385,420
建設仮勘定	88,373	-
その他	899,991	856,825
減価償却累計額	729,279	700,571
その他(純額)	170,711	156,254
有形固定資産合計	18,804,337	18,771,797
無形固定資産	93,393	72,273
投資その他の資産		
投資有価証券	413,015	408,209
敷金及び保証金	1,345,412	1,344,980
繰延税金資産	183,835	208,311
その他	1,352,850	1,376,570
貸倒引当金	9,443	9,443
投資その他の資産合計	3,285,670	3,328,629
固定資産合計	22,183,401	22,172,701
資産合計	31,143,935	31,086,264

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,098,952	2,931,637
短期借入金	4,013,180	3,836,480
未払金	2,724,310	2,422,795
未払法人税等	334,943	199,673
賞与引当金	169,749	297,567
その他	331,492	99,110
流動負債合計	10,672,629	9,787,263
固定負債		
長期借入金	2,627,225	3,804,385
退職給付引当金	143,609	143,535
役員退職慰労引当金	338,142	327,355
その他	157,563	199,209
固定負債合計	3,266,541	4,474,485
負債合計	13,939,171	14,261,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,541,250	6,541,250
資本剰余金	7,014,370	7,014,370
利益剰余金	3,607,686	3,281,075
自己株式	14,698	14,164
株主資本合計	17,148,607	16,822,530
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	89,258	97,686
為替換算調整勘定	33,101	95,703
評価・換算差額等合計	56,156	1,983
純資産合計	17,204,764	16,824,514
負債純資産合計	31,143,935	31,086,264

(2) 【 四半期連結損益計算書 】
 【 第 3 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	46,564,317
売上原価	37,955,199
売上総利益	8,609,117
販売費及び一般管理費	
荷造運搬費	3,466,627
給料及び手当	1,404,201
賞与引当金繰入額	35,640
退職給付引当金繰入額	5,938
役員退職慰労引当金繰入額	14,307
減価償却費	58,776
支払手数料	283,561
研究開発費	461,102
その他	1,529,256
販売費及び一般管理費合計	7,259,412
営業利益	1,349,705
営業外収益	
受取利息	8,668
受取家賃	113,516
その他	52,039
営業外収益合計	174,224
営業外費用	
支払利息	70,891
賃貸費用	85,703
為替差損	139,994
その他	18,339
営業外費用合計	314,928
経常利益	1,209,001
特別利益	
役員退職慰労引当金戻入額	604
特別利益合計	604
特別損失	
固定資産除却損	13,099
固定資産売却損	662
減損損失	70,676
賃貸借契約解約損	19,748
その他	11,543
特別損失合計	115,730
税金等調整前四半期純利益	1,093,875
法人税、住民税及び事業税	591,265
法人税等調整額	17,680
法人税等合計	608,945
四半期純利益	484,929

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	15,788,662
売上原価	12,843,469
売上総利益	2,945,192
販売費及び一般管理費	
荷造運搬費	1,174,415
給料及び手当	455,010
賞与引当金繰入額	35,640
退職給付引当金繰入額	312
役員退職慰労引当金繰入額	5,108
減価償却費	20,080
支払手数料	87,083
研究開発費	150,763
その他	542,097
販売費及び一般管理費合計	2,469,887
営業利益	475,305
営業外収益	
受取利息	1,909
受取家賃	37,713
その他	17,691
営業外収益合計	57,314
営業外費用	
支払利息	22,369
賃貸費用	28,830
為替差損	182,784
その他	1,582
営業外費用合計	235,567
経常利益	297,052
特別損失	
固定資産除却損	3,659
減損損失	26,570
賃貸借契約解約損	5,000
その他	11,543
特別損失合計	46,773
税金等調整前四半期純利益	250,279
法人税、住民税及び事業税	190,897
法人税等調整額	10,055
法人税等合計	180,841
四半期純利益	69,437

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,093,875
減価償却費	1,187,459
減損損失	70,676
賞与引当金の増減額(は減少)	127,817
退職給付引当金の増減額(は減少)	74
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	10,787
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,669
受取利息及び受取配当金	8,668
支払利息	70,891
有形固定資産除却損	13,099
有形固定資産売却損益(は益)	662
売上債権の増減額(は増加)	290,229
たな卸資産の増減額(は増加)	19,944
仕入債務の増減額(は減少)	172,963
未払金の増減額(は減少)	301,064
未払消費税等の増減額(は減少)	144,036
その他	177,781
小計	2,792,041
利息及び配当金の受取額	8,668
利息の支払額	69,592
法人税等の支払額	430,908
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,300,209
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	6,500
定期預金の払戻による収入	6,000
有価証券の売却による収入	1,923
有形固定資産の取得による支出	1,262,765
投資有価証券の取得による支出	5,192
投資有価証券の売却による収入	401
その他	93,504
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,359,638
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	600,000
短期借入金の返済による支出	120,000
長期借入金の返済による支出	1,480,460
配当金の支払額	156,694
その他	12,098
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,169,253
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,566
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	248,249
現金及び現金同等物の期首残高	1,948,346
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,700,096

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
1. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1)重要な資産の評価基準及び評価方法の変更</p> <p>たな卸資産</p> <p>通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。</p> <p>これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ3,943千円減少しております。</p> <p>なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。</p> <p>(2)「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用</p> <p>第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。</p> <p>これにより損益に与える影響は軽微であります。</p> <p>なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。</p>

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
<p>(有形固定資産の耐用年数の変更)</p> <p>当社の機械装置及び運搬具については、従来、耐用年数を9年としておりましたが、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、耐用年数を10年に変更しております。</p> <p>これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は39,639千円、経常利益、税金等調整前四半期純利益がそれぞれ40,588千円増加しております。</p> <p>なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
	偶発債務 下記の会社のリース債務に対し、債務保証を行っております。 ㈱グローバルフーズ 4,054千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在)
現金及び預金勘定 1,846,896千円
預入期間が3か月を超える定期預金 146,800千円
現金及び現金同等物 1,700,096千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数
 普通株式 15,875,000株
2. 自己株式の種類及び株式数
 普通株式 44,864株
3. 配当に関する事項
 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年5月23日 取締役会	普通株式	158,319	10.00	平成20年3月31日	平成20年6月13日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)

	食品事業 (千円)	飲食店事業 (千円)	運送事業 (千円)	計(千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
外部顧客に対する売上高	14,916,079	569,618	302,964	15,788,662		15,788,662
セグメント間の内部売上高	-	-	367,235	367,235	(367,235)	-
計	14,916,079	569,618	670,199	16,155,897	(367,235)	15,788,662
営業利益	394,841	7,207	70,434	472,483	2,821	475,305

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	食品事業 (千円)	飲食店事業 (千円)	運送事業 (千円)	計(千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
外部顧客に対する売上高	44,091,232	1,632,591	840,492	46,564,317	-	46,564,317
セグメント間の内部売上高	-	-	1,066,366	1,066,366	(1,066,366)	-
計	44,091,232	1,632,591	1,906,859	47,630,684	(1,066,366)	46,564,317
営業利益	1,129,072	33,570	179,784	1,342,427	7,278	1,349,705

(注) 1. 事業区分は事業の種類・性質を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な内容

事業区分	主要な内容
食品事業	米飯、調理パン、サラダ、和風惣菜、冷凍食品の仕入・製造・販売
飲食店事業	飲食店
運送事業	食品関係等の配送

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1.(1)に記載の通り、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の食品事業の営業利益が3,943千円減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1.(2)に記載の通り、第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

4. 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

機械装置及び運搬具については、従来、耐用年数を9年としておりましたが、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、耐用年数を10年に変更しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の食品事業の営業利益が39,639千円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）
本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）
海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（有価証券関係）

当第3四半期連結会計期間末（平成20年12月31日）
著しい変動がないため記載を省略しております。

（デリバティブ取引関係）

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)
著しい変動がないため記載を省略しております。

（ストック・オプション等関係）

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）
該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 . 1 株当たり純資産額

当第 3 四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年 3月31日)
1 株当たり純資産額 1,086.84円	1 株当たり純資産額 1,062.70円

2 . 1 株当たり四半期純利益金額等

当第 3 四半期連結累計期間 (自平成20年 4月 1日 至平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (自平成20年10月 1日 至平成20年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額 30.63円 なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1 株当たり四半期純利益金額 4.39円 なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1 株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第 3 四半期連結累計期間 (自平成20年 4月 1日 至平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (自平成20年10月 1日 至平成20年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益 (千円)	484,929	69,437
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	484,929	69,437
期中平均株式数 (千株)	15,831	15,830

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第 3 四半期連結累計期間(自平成20年 4月 1日 至平成20年12月31日)及び当第 3 四半期連結会計期間(自平成20年10月 1日 至平成20年12月31日)

著しい変動がないため記載を省略しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月6日

フジフーズ株式会社
取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 猪瀬 忠彦 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐々田 博信 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジフーズ株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジフーズ株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。